



市のパートナーとして 最適な人材を紹介

10/3

市と株式会社Another worksとの 民間複業人材活用に関する連携協定締結式

国東市と株式会社Another worksが大分県内の自治体で初となる複業人材活用における連携協定を締結し、行政に複業人材を登用する実証実験を開始しました。協定締結後、代表取締役の大林尚朝さんは「国東市のパートナーとして、最適な人材を紹介し良い事例を作りたい」と話していました。

地元グルメが集結し 大勢の来場者でにぎわう

10/1

くにさきT-1イベント

アストくにさき駐車場で「くにさきT-1 イベント」が開催され、約2,000人の来場者が訪れました。22店舗が地元の野菜や魚などを使用したグルメを販売し、売り切れが続出しました。来場者は、特産品のプレゼントが当たるスタンプラリーやさ吉くんフワフワなどのイベントで楽しみました。



地元の工芸家らと 交流を楽しむ

9/16

工房ギャラリーめぐりin鶴川、ホワイトリード氏作品現地訪問

国東町鶴川の鶴川商店街周辺観光・交流拠点施設で「工房ギャラリーめぐりin鶴川」が開催され、竹工芸、陶芸、木工、オルゴールなど国見アートの会の皆さんの作品が展示されました。また、鶴川地区の現代アート「Kunisaki House」の作者であるレイチェル・ホワイトリード氏が現地を訪れ、作品鑑賞や国見アートの会との交流を楽しみました。



大人になったら 宇宙に住めるかも

10/6

安岐中央小・宇宙教室

安岐中央小学校6年生を対象に梅園の里「天球館」の成松隆美館長による「宇宙教室」の授業が行われました。月の誕生から大きさ、表面の様子、月の満ち欠けなど月について学びました。安部柊斗くんは「授業を受けて、大人になったら宇宙に行って住めるかもしれないと思ってワクワクしました」と話してくれました。

地元が元気で 満ち溢れるように

10/4

「私の地元応援募金」贈呈式

明治安田生命大分支社の関係者が市役所を訪れ「私の地元応援募金」として、市に35万6,000円を寄付しました。この募金は同社による地域応援活動の一環として行われているものです。松本定重支社長は「地元が元気で満ち溢れるように支援していきたい」と述べ、松井市長に目録を手渡しました。



七島蘭を使ったしおりを 市へ1千枚寄贈

9/29

国東市商工会女性部七島蘭しおりの寄贈

市商工会女性部が七島蘭を使ったしおりを制作し、市へ1千枚寄贈しました。市はふるさと納税の寄付者へのお礼状に添える形で活用します。江原加代子部長は「市の役に立ちたいと思いしおりを寄贈することにしました。たくさんの方に使ってほしいです」と話していました。

梅園も見た 星空を観察

9/24

梅園も見た星空プロジェクト

旧武蔵東小学校グラウンドなどで国東地域の振興を目的として梅園も見た星空プロジェクトが開催されました。三浦梅園先生をイメージシンボルに宇宙工作や紙芝居の上演、天体観測会などを体験しました。畑島蒼介くん(志成学園4年)は「天体観測会で見た月の色がきれいでした」と話してくれました。

